

# 緩和ケアの ちょっと タメになる話

Vol.5

第5回のテーマはこちら

## 「モルヒネについて整理しよう」

～主な特徴はこんなです～

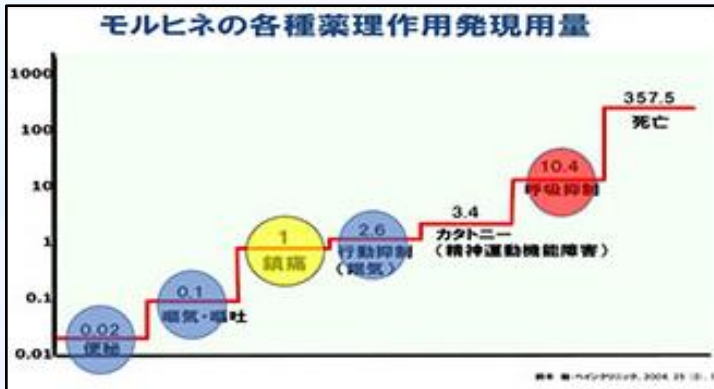
モルヒネは**オピオイド鎮痛薬**の一つです。

オピオイド鎮痛薬というのは**痛みを伝達する神経系に作用**するタイプの痛み止めです。

主要な作用は鎮痛作用なのですが、鎮痛目的に使用する量の **1/10 量で呼吸困難が緩和**できます。

鎮痛目的より少量で効果があるため、副作用の出現リスクは少ないですが

それでも副作用がないわけではないので、注意が必要です。



左図は鎮痛に必要なモルヒネ量を1とした時の副作用の出現比率です。  
(モルヒネによって呼吸抑制を起こすのは鎮痛に必要な10倍量を投与した時となります)  
呼吸困難に使う場合は、鎮痛目的の1/10量ですみますが、**嘔気・嘔吐と便秘は必発**です。  
特に、嘔気・嘔吐は耐性がつきますが**便秘は耐性がないので対策**が必要です。

理論上の話です

よく鎮静薬と混同されがちですが、**モルヒネに鎮静作用はありません**。

「モルヒネによって苦痛緩和されたために楽になって眠れた」「使いすぎて副作用で傾眠傾向になっている」ということはありますが、「**モルヒネで寝かせる**」というような鎮静目的で**使用することはありません**。

また、モルヒネは**腎不全患者には原則禁忌**です。

その理由として、モルヒネには**活性代謝物**があり、モルヒネ以上の効力があるからです。



腎機能が低下していると、**活性代謝物が排泄できずに蓄積**してしまい、副作用が強く出現してしまう可能性があるため**注意**が必要です。